

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference FP629PCT	FOR FURTHER ACTION See item 4 below	
International application No. PCT/JP2004/005847	International filing date (<i>day/month/year</i>) 23 April 2004 (23.04.2004)	Priority date (<i>day/month/year</i>) 24 April 2003 (24.04.2003)
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC 7 D21H 19/36, 19/82		
Applicant OJI PAPER CO. LTD.		

1. This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 *bis*.1(a).
2. This REPORT consists of a total of 6 sheets, including this cover sheet.

In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.

3. This report contains indications relating to the following items:

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> Box No. I | Basis of the report |
| <input type="checkbox"/> Box No. II | Priority |
| <input checked="" type="checkbox"/> Box No. III | Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability |
| <input type="checkbox"/> Box No. IV | Lack of unity of invention |
| <input checked="" type="checkbox"/> Box No. V | Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement |
| <input type="checkbox"/> Box No. VI | Certain documents cited |
| <input type="checkbox"/> Box No. VII | Certain defects in the international application |
| <input checked="" type="checkbox"/> Box No. VIII | Certain observations on the international application |

4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis .2).

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No. +41 22 740 14 35	Date of issuance of this report 28 October 2005 (28.10.2005)
	Authorized officer Yoshiko Kuwahara Telephone No. +41 22 338 90 90

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

出願人代理人

朝倉 正幸

様

あて名

〒 105-0003

東京都港区西新橋一丁目23番9号
河野ビル5階 信和法律特許事務所

RECEIVED

19 AUG 2004

PCT

国際調査機関 WPC
(法施行規則第40条の2)
[PCT規則43の2.1]

PCT

発送日
(日・月・年)

17. 8. 2004

出願人又は代理人
の書類記号

FP629PCT

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

PCT/JP2004/005847

国際出願日

(日・月・年) 23. 04. 2004

優先日

(日・月・年) 24. 04. 2003

国際特許分類 (IPC)

Int. Cl. D21H19/36, 82

出願人 (氏名又は名称)

王子製紙株式会社

1. この見解書は次の内容を含む。

☒ 第I欄 見解の基礎

☐ 第II欄 優先権

☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如

☒ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明

☐ 第VI欄 ある種の引用文献

☐ 第VII欄 国際出願の不備

☒ 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

03. 08. 2004

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
澤村 茂実

4S

9158

電話番号 03-3581-1101 内線 3474

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第I欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

- ☐ この見解書は、_____ 語による翻訳文を基礎として作成した。
それは国際調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解書を作成した。

a. タイプ ☐ 配列表

☐ 配列表に関連するテーブル

b. フォーマット ☐ 書面

☐ コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれる

☐ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された

☐ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

3. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 補足意見：

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

1. 次にに関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 1-7

理由:

☐ この国際出願又は請求の範囲は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 1-7 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☐ 請求の範囲 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

- | | |
|--------------------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> | 提出されていない。 |
| <input type="checkbox"/> | 所定の基準を満たしていない。 |
| <input type="checkbox"/> | 提出されていない。 |
| <input type="checkbox"/> | 所定の基準を満たしていない。 |

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 提出されていない。 |
| <input type="checkbox"/> | 所定の技術的な要件を満たしていない。 |

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 8 有
請求の範囲 無

進歩性 (IS)

請求の範囲 8 有
請求の範囲 無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲 8 有
請求の範囲 無

2. 文献及び説明

請求の範囲 8

いずれの文献にも最外塗被層の接着剤成分を、(a)水溶性接着剤、(b)モノマー比でアクリロニトリルを10～35質量部含有し、平均粒子径が50～120nmであるスチレン-ブタジエン系共重合体ラテックス、(c)上記(b)以外の共重合体ラテックスの3成分で構成させ、上記(a)(b)(c)の配合量を塗被層の顔料成分100質量部当たりそれぞれ(S)(L1)(L2)としてAの値を下記式

$$A = 2 \times (S) + 1.5 \times (L1) + 1 \times (L2)$$

但し、 $0 \leq (S) < 6$ 、 $0 \leq (L1)$ 、 $0 \leq (L2)$

$$(S) + (L1) + (L2) \leq 16$$

最外塗被層に含まれる平均粒子径0.4μm以下の顔料成分の量が

(i)顔料成分全量の60質量%以下の時はAの値を16～21の範囲とし、

(ii)顔料成分全量の60質量%を超えるときはAの値を19～24の範囲とし、

内側塗被層の接着剤成分の配合量を顔料成分100質量部当たり6～13質量部とし、かつ接着剤成分に含まれる水溶性接着剤の量を顔料成分100質量部当たり当たり6質量部未満とすることについて記載はないから、この請求の範囲8に関する発明は新規性を有する。そして接着剤の配合を上記のようにすることについてはいずれの文献にも示唆する記載はなく、一方そうすることで印刷塗被紙は、反転印刷可能時間が短く、両面印刷機適性に優れるという効果を有するから進歩性も有している。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲第1-3は「塗被層の吸収係数 K_a 」「印刷を施した直後から～秒後に計測されるインキタック値」という物性により規定された原紙の少なくとも片面に、顔料と接着剤を主成分とする塗被層を2層以上設けた印刷用塗被紙を全て包含するが、PCT6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT5条の意味において開示されているのは請求の範囲8に記載された最外塗被層と内側塗被層の顔料成分及び接着剤成分のものに限られるものと認める。

また、出願時の技術常識を勘案しても「塗被層の吸収係数 K_a 」「印刷を施した直後から～秒後に計測されるインキタック値」が請求の範囲にて規定する印刷用塗被紙の範囲を特定できないから、これら請求の範囲は、PCT6条における明確性の要件も欠いている。

同様に、請求の範囲第4-7は「塗被層の吸収係数 K_a 」「印刷を施した直後から～分後の裏移り汚れ輝度」という物性により規定された原紙の少なくとも片面に、顔料と接着剤を主成分とする塗被層を2層以上設けた印刷用塗被紙を全て包含するが、PCT6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT5条の意味において開示されているのは請求の範囲8に記載された最外塗被層と内側塗被層の顔料成分及び接着剤成分のものに限られるものと認める。

そして、これも出願時の技術常識を勘案しても「塗被層の吸収係数 K_a 」「印刷を施した直後から～分後の裏移り汚れ輝度」が請求の範囲にて規定する印刷用塗被紙の範囲を特定できないから、これら請求の範囲は、PCT6条における明確性の要件も欠いている。